ショウガで福井を元気に!!

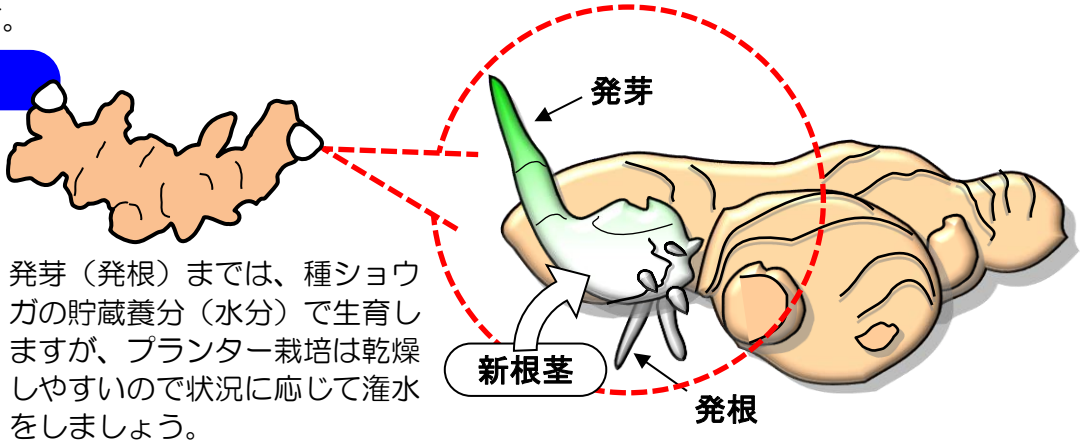
令和4年6月
ＪＡ福井県　福井基幹支店

Ginger Girl プラス

『ジンジャーガールズ プランター栽培情報』 No.2

種ショウガは植え付け後、約1ヶ月ぐらいで出芽します。植え付け時に見られた芽は新根茎です。ここが肥大し伸びた先端が芽となります。また、種ショウガと新根茎の付け根付近から太い根が伸び、その根から毛細根が出ます。

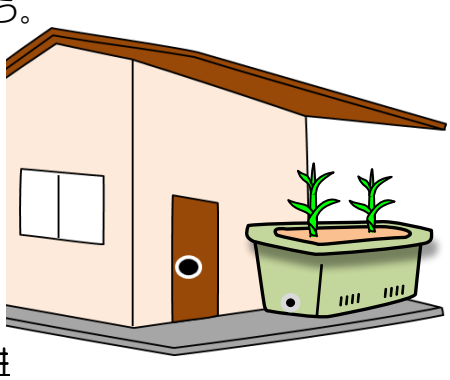
ショウガの状態

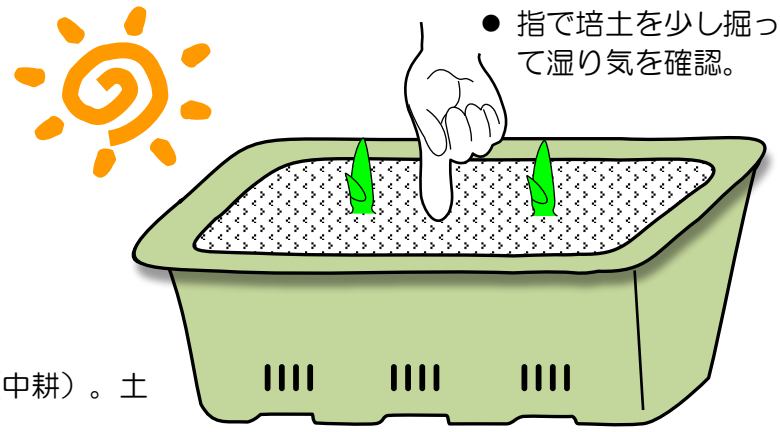


- 発芽（発根）までは、種ショウガの貯蔵養分（水分）で生育しますが、プランター栽培は乾燥しやすいので状況に応じて潅水をしましょう。
- 発芽（発根）後は、水分が必要です。適度な土壌水分を保つようにしましょう。

ショウガ『プランター』栽培のポイント

軒先等でのプランター栽培は、畑（露地）栽培と違って雨や夜露などの影響を受けないため、培土が乾きすぎる（湿りけが無くなる）ことがあります。湿り気が無い場合は表面が湿る程度の潅水を行いましょう。

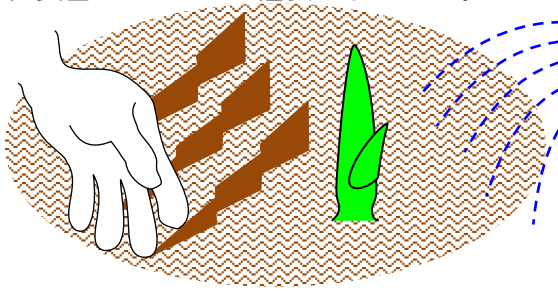




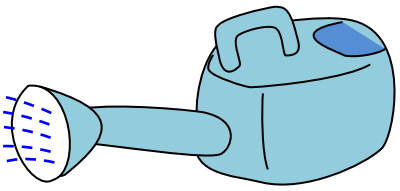
- 指で培土を少し掘って湿り気を確認。

★中耕

- 表面の硬くなった土を手で引っかく（中耕）。土中への水分や酸素の供給を図る。
- 株元や深い中耕を行うと、ショウガの根を傷めるため、表面から2～3㎝程度を引っかく。



- ショウガを掘り起こさないように注意する。



★潅水

- プランターは乾燥しやすので、表面の土が乾いたら定期的に潅水する。
- 水のやりすぎに注意する。